

## 茨城デスティネーションキャンペーンを契機とした鉄道×金融連携による地域事業支援 JR東日本水戸支社×茨城県信用組合「地域事業支援アワード2023」贈呈を行います

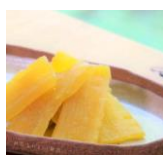
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社(以下、「JR東日本水戸支社」と)茨城県信用組合は、鉄道事業者と金融機関の持つそれぞれの強みを掛け合わせながら、茨城県内事業者の企業価値向上を支援する「地域活性化連携協定」を締結しています。昨年より、この取組みを通じて販路拡大などの事業成長へつながった事業者に対し、「地域事業支援アワード」を贈呈しておりますが、今年はさらにこの取組みを深化させ、「ヒト」をキーワードに顕著な成果を挙げた事業者に対して、「地域事業支援アワード2023」を贈呈します。

### 1 地域事業支援アワードに対する考え方

- ・2022年3月より、JR東日本水戸支社と茨城県信用組合は、「地域活性化連携協定」を締結しました。
- ・「鉄道事業者」と「金融機関」という関連性が無いと思われる組合せでしたが、「地域共創」「地域活性化」という想いが同じであり、お互いの事業が共通の認識のもとに一つのルールでつながりました。
- ・この「金鉄連携」(金融機関×鉄道事業者連携)は、地域に密着している「信用組合」のお客様をJR東日本の販路やプロモーションに乗せて、**新たな販路を開拓させる取組み**です。
- ・本アワードはこの取組みにより、JR東日本グループ会社と連携した商品開発、販路拡大、店舗出店などの新たな販路開拓につながった事業者を選出するものです。

### 2 「地域事業支援アワード2023」対象事業者

#### つるた しょうてん 鶴田商店 (小美玉市)



ほしいも

小美玉市にてさつまいもの生産から干し芋の加工、販売までを一貫して行っている。自ら新たな販路拡大を模索するも単独での商談には至らず窮していたが、**営業店担当**がその悩みを聞き(株)ノ國屋の商談会や首都圏駅構内催事の参加を提案し、商談会の進め方や販売サポートを行う。その結果、(株)ノ國屋を含む**2社との取引成立、催事への出店による「干し芋」の認知度向上に寄与**した事が選出のポイント。今後は、新工場建設等の事業拡大を計画しており、継続して伴走支援に取り組んでいく。

#### かぶきあられいけだや (有)歌舞伎あられ池田屋 (取手市)



あられ おかき

昭和8年創業。茨城県取手市を中心に、伝統的な製法である「杵つき」や「天日干し」による、あられおかきの製造販売を行っている。従来からOEM生産が主であったが、創業100周年を迎えるにあたって「いつかは自社ブランドの商品で勝負したい。」との思いを**営業店担当**と共有。

そこで、研修を通じてこの取組みを知り、(株)ノ國屋の商談会や水戸駅構内催事の参加を提案し、商談会の進め方や販売サポートを行う。

JR東日本グループ会社と茨城県信用組合によるマッチング商談会では、**2商品が高評価を受け、プライベートブランド商品として採用が決定**。今春販売予定となっている。また、従業員教育にも力を入れており、商談会の進捗共有や催事に参加させる事で**従業員のモチベーション向上にも寄与**した事が選出のポイント。

### 3 「地域事業支援アワード2022」事業者の成果

- ・このアワードは、新たな成功事例を生み出す仕組みづくりを目指してはじまり、**昨年は2社の事業者が選出**されました。
- ・具体的な成果としては、**高級スーパーのプライベートブランド商品としての採用**や、**駅ナカコンビニ・商業施設**などで自社商品が販売開始されるなど**新たな販路が開拓**されました。
- ・販売が開始された**半年間で、新規取引先の売上高に占める割合が50%を超える**など**顕著な例も見受けられます**。
- ・この連携ならではの「**人間味のある商談会**」を通じた**伴走支援**は、**ヒトとヒトとのつながりの重要性を再認識**させるものであり、「**地域共創モデル**」として**全国信用組合中央協会より、令和5年度「しんくみブランド表彰」優秀賞を受賞**しました。
- ・本取組みが**全国信用組合中央協会「しんくみバンク公式YouTubeチャンネル」**に取り上げられ、**動画配信**されています。

URL : <https://youtu.be/9rfaeZgDv-w>



### 4 さらに深化した今年度の取組み

- ・JR東日本グループ会社との**マッチング商談会**は**実施頻度を高めて継続して開催**しているほか、今年度は**新たな取組みとして、水戸駅でのエキナカマルシェを複数回開催**し、**茨城県信用組合の取引先事業者が多数出店**しました。
- ・茨城県信用組合の**営業店担当者が「知られていない逸品・事業者を発掘」**し、**商談会や催事出店の機会を提供**すると同時に**販路開拓に向けた伴走支援を行う取組みを今年度はさらに深化**させてきました。
- ・今年度は、**1年間の長期研修として「販路開拓・伴走支援研修」を実施**。これは、**(独)中小機構と連携**し、**商品の磨き上げを行いながら、実際に営業店担当者と共に商談会や催事に臨む**ものです。
- ・これまでの取組みに加えて、**研修生である営業店担当者が事業者と共に(独)中小機構の施策を活用**し、**商品の磨き上げなどを行う事で商談会や催事のステージへの引き上げに取り組み**ました。このような**伴走支援により自然と一体感が醸成され、販路拡大以外の経営課題(補助金や設備投資)にも取り組める関係性の構築**にもつながりました。